



宮城県仙台向山高等学校 学校だより
こうふうせいげつ
向風霽月

第1号

令和4年5月2日発行

発行者：宮城県仙台向山高等学校

(編集責任者：主幹教諭 作間 偉也)

未来を切り拓く向陵生

校長 高橋 時明

本校は昭和50年に、仙台市内では初めての男女共学、普通科県立高校として開校しました。平成6年には理数科を併設し、県内での普通科と理数科教育をともにリードする学校として歩み続け、今年度で48年目を迎えます。卒業生は1万1千名を越え、県内のみならず全国各地のさまざまな分野で活躍しております。平成10年に県から指定を受け立ち上げた「向陵プラン」を、平成30年に「向陵Plearning(プラーニング)」と深化させ、「テーマと出会い、テーマを深め、テーマを完成する」という、3年間にわたる体系的な探究活動をとおして、生徒に秘められた無限の可能性を開花させ、希望進路の実現を下支えしております。

本校の校訓「**自律・和敬**」の精神の下、

「自分の言行に責任を持ち相互の敬愛・協力を惜しまない人間を育成する」

ことを教育方針に掲げ、知徳体の調和の取れた人間性を育み、豊かな個性と創造性を育てることを教育目標としています。生徒が互いに切磋琢磨しながら、主体性を持って学校生活を送り、一人ひとりが自分の力で未来を切り拓いていけるよう、職員一丸となって日々の教育活動に取り組んでいます。

我々職員一同、教育目標の具現化を目指しながら、生徒や保護者の皆様、そして県民から信頼される学校づくりを行っていきたいと考えております。今後ともご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(学校ホームページより)

令和4年度 宮城県仙台向山高等学校重点目標

校 訓	自律 和敬
教育目標	「自律・和敬」の精神を重んじ、個性と創造性の豊かな人間の育成 意欲的に学習する習慣を養い、知性と教養の豊かな人間の育成 自己の言動に責任をもち、他を思いやり協力する心の豊かな人間の育成 心と体の健康を増進し、たくましく生き抜く実践力の豊かな人間の育成
重点目標	生徒の夢の実現と魅力ある学校づくり

～「向風霽月」について～

「光風霽月(こうふうせいげつ)」は「心が澄み切っていて不平不満なく爽やかであること」。生徒たちには向山の学び舎で、澄んだ心で学びを深めてほしいという願いを込め、「向」の字で始まる言葉に替えて題としました。



〈入学式〉

4月8日、今年度の新入生200名を迎え、入学式が挙行されました。

本校は制服のない学校であるため、新入生の皆さんは中学校の制服やスーツなど、様々な姿で式に参加しました。緊張した面持ちで式に臨んだ新入生でしたが、校長から入学を許可され、校長式辞や父母教師会会長祝辞でこれからの高校生活についての心構えについてお話を聴くうちに、その緊張した表情の中にも、いよいよ始まる高校生としての新たな生活に期待を膨らませている様子が見えられました。



式の最後には、新型コロナウイルス感染症によりこの2年間歌われることのなかった、吹奏楽部による校歌が披露されました。校歌は新入生の入学を歓迎し、美しい音色で会場に響き渡りました。

その後、新入生が退場し向かった各教室には、前日から生徒会執行部や吹奏楽部の生徒によって歓迎の装飾が施されていました。

この1日をおして、新入生は仙台向山高校の一員となった自覚を持ったことと思います。これから向陵生として、充実した学校生活を送ってくれることでしょう。

〈生徒会入会式・春季大会壮行式〉

4月11日には、生徒会入会式が行われました。

新型コロナウイルス感染症予防のため、全学年が一カ所に集まることは避け、1学年は体育館、2・3学年は各教室でライブ配信により体育館の様子を見る形で実施されました。

生徒会入会式は生徒会長の3年生庄子虎徹さんの挨拶から始まり、生徒会執行部・応援団の紹介と続いたのち、午前・午後の2部に分かれて部紹介が行われました。

新入生はここで紹介された内容を参考にして各部の見学を行い、4月18日には正式に部登録を行いました。

4月20日には、この後まもなく始まる地区総体・県総体を前に、春季大会壮行式が行われました。

2・3年生にとってはこれまでの練習の成果を発揮する重要な場となります。全校生徒の応援を受けた選手たちが、それぞれの場所で活躍することを期待しています。



〈理数科ガイダンス〉

理数科では1年次より野外巡検、研究所訪問、課題研究など理数科独自の探究活動を行い、自然科学に関する知識や教養を身につけ、学問への興味や関心を深めていきます。こうした理数科独自の活動について、4月13日には2学年、27日には1学年向けのガイダンスが行われました。

